



よくまなび よくあそび
～ 人生を拓く力の育成 ～
まなび いっぱい
やさしさ いっぱい
げんき いっぱい

努力はたし算 協力はかけ算

赤や黄色、オレンジへと色を変えた校庭の樹々の葉が風に舞います。短かった秋でしたが、それでも1年生は、拾い集めてきた落ち葉や松ぼっくりやドングリで、コマややじろべえなど、いろいろなものを作って遊びました。子どものうちは、季節ごとの自然に触れて探求心や好奇心をくすぐり、たくさんの発見や気づきを重ねてほしいものです。

先日の校内音楽会では、子どもたちの一生懸命に頑張る姿に感心しました。鍵盤ハーモニカやリコーダーなどの楽器を楽しそうに奏でる子どもたち、そして何よりも、口を大きく開けて、豊かな表情で歌う子どもたちに大感動。それぞれの学年の持ち味が発揮されたハーモニーは、心と歌声が一つになった見事なものでした。聴いていた教職員や保護者の方と同じように、歌った子どもたち自身も感動したと思います。声質も音色も音量も違う一人一人の歌声が一つになり、「みんなで声を合わせ歌うことって何て素敵なんだろう」「学年やクラスの友だちっていいな」。そんなことを実感できたはずで。



楽器や歌が苦手だという人もいたかもしれませんが、でも、毎日毎日、励ましあいながら練習を続け演奏できるようになりました。大きな声で歌えるようになりました。「できた（有能感）」という経験の積み重ねは大切です。そして何より、友だちと一緒に協力したというつながり（一体感）を感じることができたことは貴重な体験でした。この音楽会での達成感や成就感は、“一人一人の努力”と“学年やクラスの励まし、協力”があればこそです。これからも友だち大切に、友だちと共に創り上げる活動を大切にしてほしいと思います。

さて、小さな努力でもそれをこつこつと続けていくと、それをたし算として積み重ねていくことができます。努力は決して無駄にはなりません。勉強も運動もそうです。努力したことは、必ず結果として表れます。「努力はたし算」です。



そして、「協力はかけ算」です。かける数が1より大きければ、大きな結果に繋がります。みんなの力が相乗作用で大きくなります。一人でできないことも、協力することで不思議とパワーアップし、達成できたりします。でも、こわいのは、かけ算の中に一つでもゼロがあれば、答えはゼロになってしまうことです。もし、「自分一人ぐらいやらなくてもいいや」「誰かがやってくれるだろう」という人が一人でもいれば、学年やクラスで何も創り上げることができなくなってしまいます。

「協力」はひとりではできません。人と人とのつながり、関わりの中で生まれてくるものです。これからも、学年やクラスの友だちを大切に、全員が同じ思いで協力し合い、大きなものを創り上げてほしいと願います。

「努力はたし算、協力はかけ算」は、私たち教職員にもあてはまります。一人一人が努力を重ね、教師としての力量を高めることは当然ですが、何よりも「チーム大洲小」である私たち教職員の仕事は「かけ算」であることを、改めて確認させていただきました。

学校経営の方針について（２）

今月の保護者アンケートでご意見をいただき、「令和６年度 学校経営方針」を策定します。

<まなびいっぱい> ~ 確かな学力を育む

- 基本を大切にします

小学校でのつまずきは、卒業後まで影響します。日々の授業を大切に、基礎基本の定着を図ります。また、定着させるためには、反復練習が必要なものもあります。家庭学習の習慣も大切になりますので、ご家庭との共通理解を図ります。

- 「体験」を重視します

学習は机上だけではできません。人との交流や自然体験など、本物との出会いが実感を伴った理解になり、思考を深めます。表現力、想像力、創造力を高めます。

- 読書教育を進めます

子どもは読書を通じて、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高めるとともに、想像力を豊かにしていきます。また、読書活動は子どもの生涯にわたる学習活動の基礎になるとされ、「万学の基礎」と言われています。読書をあまりしない中学生や高校生の多くは、幼児期や小学生の時期に読み聞かせや読書の経験が少ないとの調査結果もあります。生涯の財産になるよう、多くの「良書」に触れさせたいと思います。

- ICTを効果的に活用します

タブレット端末やICT機器を効果的に活用することで、「個別最適な学び」や「協働的な学び」がより深まることが期待されます。「I（今までの学びに）C（ちょっとずつ）T（取り入れる）」がテーマです。情報モラル・ネットリテラシー教育にも取り組みます。

<やさしさいっぱい> ~ 豊かな心を育む

- あいさつ、マナーを徹底します

あいさつは人としての基本です。あいさつは毎日の積み重ねでしか身につきません。マナーも大切です。周りへの気遣いや感謝の気持ちを、言葉や行動で表すことができる子どもに成長してほしいと思っています。あいさつやマナーの指導は学校でも行いますが、ご家庭の役割が大きいと思っています。学校とご家庭との連携が求められます。

- いじめを許さない人権に配慮した教育活動を推進します

「いじめは、いじめる側が100%悪い」。いじめや暴力を正当化する理由はありません。いじめを許さない学級経営を行い、防止、早期発見、解決には組織で対応します。

- 清掃活動を大切にします

ゴミが落ちていても気がつかない子は、人の心の痛みがわかるでしょうか。公共物を乱暴に扱う子は、友だちに優しく接することができるでしょうか。掃除の様子を見れば、子どもが落ち着いて生活しているかどうか分かります。

<げんきいっぱい> ~ 健やかな体を育む

- 正課体育の充実と外遊びの励行で体を鍛えます

学力を身につけるためには、集中力、持続力、忍耐力が必要になってきます。これらの力は体力と無関係ではありません。運動量の確保や様々な運動経験をさせるため、体育の授業の充実を図ります。また、外遊びを推奨し、進んで運動に取り組む機会をつくります。

- 基本的な生活習慣と病気やけがの予防を図ります

安全教育や訓練を通して、「自分の身は自分で守る」力の育成に力を入れます。また、健康の基本は「早寝早起き朝ごはん」です。ご家庭と連携しながら、食育を含め、基本的な生活習慣を身につけさせるよう取り組みます。